

『昔見た祭り』

私は、前にやんさんまを見ました。牛のり式では、男の人たちが、牛にのった人を、ささえてそのあとに、牛を下におさえこんでいました。牛が少しかわいそうだったけれども、はくしょくがあつて、目がはなせませんでした。やんさんまの本題のところ、馬に人がのつて、馬が走っていました。馬が走っていると中人が、まどにおかたて矢をうちました。大きな音がしました。初めて見たので、びっくりしたけどとても、おもしろいです。矢をとつて家に持ち帰ると、幸せになるといわれていて、落ちた矢を、何人かがとりました。私もとりました。生まれて初めて本物の矢をさわりました。手で作ってありました。それを見たとき神社の人はこんなことまでやって大変なのにすごいと思いました。おくまで行って馬がかえつてきて、もとの場所にもどりました。私の地いきでは、ほかにも行事があつて、お田植祭では、手作りのまこもの神さまがあつて、それをキャッチして持ちかえると、幸せになれると言っておられました。その神さまは、ぐうじさんがなげていました。私は、キャッチしました。昔は、うれしいなぐらいの気持ちでした。でも今思うと、一年に一度でなかなかとるき会も少ないので、とても、言葉に表せないくらいのもよるこびが、心の中にあると思います。この二つの祭りは、見終わつた今でも一番すごい祭りだと思います。やんさんまは、大きくて太いあの矢を自分たちで作っているのがしんじられないほどすごいし、お田植でも、大きくて少し重いまこもの神さまを手で作るし、しかもまこもをとりに行っているのもすごいと思います。今は、少しわずれぎみだったけど、二つの祭りは、ずいぶん昔からあるのに今ものこっています。だから、これからも見たり、じっさいにふれてみたりして、この伝とうをとぎれさせないで、けいしょうしていけたらよいなと思います。